

平成24年度

相模原市立博物館

年報



さがぼんのツイッターと職員のプログができたよ。



博物館のホームページに遊びに来てね。



相模原市立博物館
SAGAMIHARA CITY MUSEUM

平成25年4月1日

目 次

I	相模原市立博物館概要	1
1	設立の経緯	
2	設置目的	
3	略年	
4	平成24年度博物館重点目標	
II	管理運営	4
1	組織及び職員 (1) 組織と事務分掌 (2) 職員	
2	博物館協議会 (1) 趣旨 (2) 委員構成 (3) 活動状況	
3	施設 (1) 施設概要 (2) 施設管理	
4	予算	
III	教育普及	8
1	入館者数 (1) 24年度計 (2) 総計 (3) 詳細	
2	企画展等	
3	講座・講演会・教室・観望会等の事業	
4	プラネタリウム・全天周映画	
5	その他 (1) 情報サービスコーナー	
6	学校と博物館の連携を進める研究会	
7	広報・出版等	
8	博物館学芸員実習	
9	学習利用	
10	博物館職員の講師依頼等	
11	市民との協働	
IV	資料管理	29
1	博物館収蔵資料点数	
2	資料・収集・整理	
3	購入資料	
4	有害生物管理の実施 (1) 受入れ資料のくん蒸 (2) 有害生物調査	
5	資料の特別利用	
V	調査研究	36
VI	市史・町史編さん	37
1	相模原市史	
2	津久井町史	
VII	博物館関連施設	41
1	尾崎罌堂記館	
2	吉野宿ふじや	
3	津久井郷土資料室	
4	入館者一覧表	

I 相模原市立博物館概要

1 設立の経緯

昭和 53 年 1 2 月、郷土懇話会や文化協会ほか 8 団体の連名で「博物館設置要望書」が市長に提出された。翌年、文化関係 6 団体からなる文化財研究協議会が結成され、ここで博物館設立について熱のこもった論議が行われた。設立総会での神崎彰利氏の講演「郷土の文化を守るために＝地域博物館の意義と役割」を理論的柱として、建設促進のための活動が展開された。

こうした市民の積極的な行動と同時に、昭和 55 年、市総合計画の中に「博物館・美術館などの文化施設の検討」が盛り込まれ、昭和 56 年 4 月に社会教育課に博物館準備係が設置され、博物館設立の第一歩が踏み出された。設立の過程で幾つかの問題があったが、最大の難問は建設用地で、旧米軍キャンプ淵野辺跡地処分決定に 6 か年を要したが、博物館をつくる懇話会が提言した“自然環境にめぐまれた”用地が確保された。

平成 7 年 1 1 月 20 日（市制記念日）に開館。開館後は 1 階の常設展示やプラネタリウムを中心に、特別展や講座・教室・観察会など、子どもから年長者までだれもが楽しく学べるよう、さまざまな事業を行っている。

2 設置目的及び当館の特徴

郷土の自然及び文化並びに天文に親しむとともに、これらに関する理解を深める場を市民に提供することにより、郷土を愛する心をはぐくみ、生涯学習の振興を図り、もっていきいきとした市民文化の創造に寄与するため、博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）第 2 条第 1 項に規定する博物館として、相模原市立博物館を相模原市中央区高根 3 丁目 1 番 15 号に設置する。

（市立博物館条例第 2 条）

当館の特徴…自然（動物・植物・地質・天文部門）、人文（考古・歴史・民俗・地理部門）両分野にわたる総合博物館で、プラネタリウムを併設する博物館法に基づく登録博物館（H7. 11. 20 神奈川第 32 号）

3 略年

年	月	事	項
昭和 55 年	4 月	相模原市総合計画に建設の検討が盛り込まれる	
昭和 56 年	4 月	社会教育課に博物館準備係を設置	
昭和 56 年	6 月	博物館をつくる懇談会を設置	
昭和 56 年	10 月	博物館をつくる懇談会から建設構想策定の提言	
昭和 58 年	2 月	(仮称) 相模原市立博物館基本構想策定	
昭和 58 年	6 月	展示専門委員会の設置	
昭和 59 年	3 月	博物館展示基本計画の策定	
平成 2 年	11 月	国有財産関東地方審議会において博物館建設用地の処分が認められる。(仮称) 相模原市立博物館建設基本計画策定	
平成 3 年	4 月	博物館建設事務所設置	
平成 3 年	5 月	建築設計候補者選考委員会の設置	
平成 3 年	7 月	建築設計プロポーザル提案図書提出	
平成 3 年	8 月	建築設計者の決定	
		博物館をつくる懇談会市長へ意見書を提出し解散	
平成 3 年	9 月	建築基本設計着手	
平成 4 年	1 月	建設用地の取得	
		展示プロポーザル提案図書の提出	
平成 4 年	2 月	展示設計・施工候補者選考委員会設置	
		展示設計・施工者の決定	
平成 4 年	5 月	建設実施設計及び展示実施設計着手	
		プラネタリウム等候補機種選考委員会の開催	
平成 5 年	6 月	博物館建設工事・展示工事・プラネタリウム等設備工事契約	
平成 6 年	8 月	天体観測機器設置工事契約	
平成 7 年	3 月	相模原市立博物館条例制定	
		登録原簿への登録を受ける(記号番号 神奈川第 32 号)	
平成 7 年	7 月	博物館建設工事竣工	
平成 7 年	10 月	展示工事・プラネタリウム等工事・天体観測機器設置工事竣工	
		平成 7 年 11 月 20 日 開館	
平成 8 年	5 月	入館者 10 万人達成記念式典(5 月 19 日)	
平成 8 年	10 月	平成 8 年度第 41 回神奈川建築コンクール最優秀賞受賞	
平成 9 年	4 月	障害者・高齢者・ひとり親家庭等の家族に対するプラネタリウム観覧料等の減免施策開始	

平成 9 年 4 月	隣接地に淵野辺公園第 2 駐車場（50 台収容）が完成し、博物館駐車場と一体的な運用開始
平成 9 年 5 月	1997 年度日本建築学会作品選奨受賞
平成 9 年 10 月	平成 9 年度通商産業省選定グッド・デザイン施設受賞
平成 9 年 11 月	平成 9 年度第 38 回建築業協会賞受賞
平成 11 年 11 月	（11/21 入館者数 50 万人を超える）
平成 12 年 5 月	公共建築賞優秀賞受賞
平成 16 年 1 月	（1/18 入館者数 100 万人を超える） 入館者 100 万人達成セレモニー
平成 17 年 4 月	市立博物館シンボルマークを制定
平成 17 年 10 月	開館 10 周年記念特別展「博物館 10 年の歩み」を実施 （10/22 入館者数 120 万人を超える）
平成 18 年 10 月	博物館資料調査員 2 名を配置（19 年 4 月より 4 名配置）
平成 22 年 4 月	管理係を企画情報班に組織変更。市史編さん班新設（業務移管）
平成 22 年 7 月	小惑星探査機はやぶさのカプセル世界初公開
平成 23 年 4 月	天文展示室リニューアルオープン
平成 23 年 8 月	（8/28 入館者数 200 万人を超える） 入館者 200 万人達成セレモニー
平成 24 年 2 月	全天周映画「HAYABUSA BACK TO THE EARTH」の観覧者が 5 万人を超える。

4 平成 24 年度 博物館 重点目標

■重点目標

より親しまれる博物館とするための事業実施と調査研究を進めます。

■重点施策

- 1 博物館ネットワーク計画を進めるため、ネットワークセンター事業を市民と協働で推進します（協働事業提案制度行政提案に応募）。
- 2 常設展示リニューアル計画を進めるため、協働で検討するボランティアを募集し、具体的な展示手法等について検討を行います。また、吉野宿ふじやの曳家後の運営普及について市民と協働で推進します（協働事業提案制度行政提案に応募）。
- 3 あらゆる分野において、市民、大学、企業などとの協働を進めます。
- 4 市史・町史の編さんを進め、「津久井町史 自然編」を刊行します。
- 5 博物館評価制度の研究を進めます。

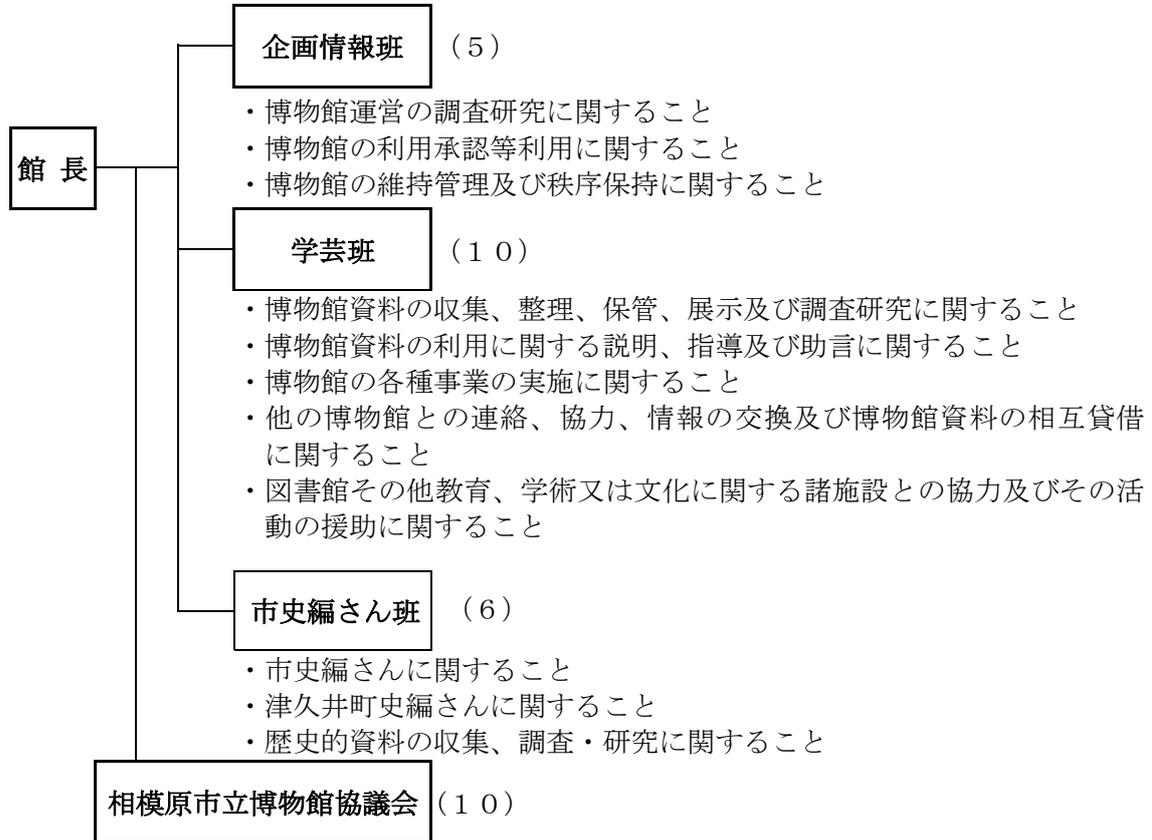
■施策の取り組み方針

- 1 施設利用者や事業参加者の視点を大切にしながら取り組みます。
- 2 安全への配慮を怠らぬよう取り組みます。
- 3 基礎的な資料の収集・整理と保存を確実にいき、その研究成果を事業に生かします。

II 管理運営

1 組織及び職員

(1) 組織と事務分掌



(2) 職員

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

	館長	菊地原 恒市
企画情報班	総括副主幹 主査 主査 主査 主任 (再任用)	天野 光洋 松木 悟 方波見 淳 金井 理代 横山 正
学芸班	総括副主幹 指導主事 副主幹 (学芸員) 主査 主査 主査(学芸員) 主査(学芸員) 主査(学芸員) 主任(再任用)	木村 知之 渡邊 直展 土井 永好 (歴史) 有本 雅之 (天文) 正 洋樹 (考古) 加藤 隆志 (民俗) 秋山 幸也 (生物) 河尻 清和 (地質) 杉本 芳秋

(平成 25 年 4 月 1 日現在)

	館長	菊地原 恒市
企画情報班	総括副主幹 主査 主査 主査 主任 (再任用)	佐々木 春美 松木 悟 方波見 淳 金井 理代 横山 正
学芸班	総括副主幹 指導主事 副主幹 (学芸員) 副主幹 (学芸員) 副主幹 (学芸員) 主査 主査 主査(学芸員) 主査(学芸員) 主任(再任用)	木村 知之 渡邊 直展 山田陽志郎 (天文) 土井 永好 (歴史) 加藤 隆志 (民俗) 有本 雅之 (天文) 正 洋樹 (考古) 秋山 幸也 (生物) 河尻 清和 (地質) 杉本 芳秋

市史編さん班	担当課長(市史編さん班担当)	藤野 充	市史編さん班	担当課長(市史編さん班担当)	藤野 充
	副主幹	佐藤 洋二		副主幹	森田 政英
	副主幹(町史担当)	守屋 博文		副主幹(町史担当)	守屋 博文
	主査	井上 泰		主査	井上 泰
	主査(町史担当)	草薙 由美		主査(町史担当)	草薙 由美
	主任(再任用)	加藤 康雄		主任(再任用)	加藤 康雄
非常勤特別職	学習指導員 2名		非常勤特別職	学習指導員 2名	
	市史編さん調査員 1名			市史編さん調査員 1名	

2 博物館協議会

(1) 趣 旨

博物館法に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関。

(2) 委員構成 任期 2 年

平成 23 年 11 月 20 日～平成 25 年 11 月 19 日

氏 名	備 考	選出区分
加 瀬 加寿恵	小学校教諭	学校教育
山 口 文 男	高等学校教諭	
戸 塚 厚 生	市文化財研究協議会会長	社会教育
岡 井 浩 子	市立小中学校 P T A 連絡協議会	
井 上 博 美	市女性学習グループ連絡協議会	家庭教育
小 瀬 康 行	東京家政学院大学教授	学識経験者
青 木 雄 司	県立宮ヶ瀬ビジターセンター館長	
矢 野 創	宇宙科学研究所固体惑星研究系助教	
金 子 信 男	相模原市民	市民公募
霧 生 チェ子		

(3) 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	6 月 1 5 日 (金)	平成 23 年度の活動状況に関する評価について
2	1 2 月 5 日 (水)	博物館評価に対する他館の事例について
3	2 月 2 7 日 (水)	活動状況に関する評価について

3 施設

(1) 施設概要

ア 敷地面積	9, 999. 48㎡
イ 構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄筋造
ウ 規模	地下1階・地上3階建て
エ 建築面積	5, 081. 03㎡
オ 延床面積	9, 510. 24㎡

	用途・面積	主な室	内容
展示・教育	展示スペース (1, 907㎡)	自然・歴史展示室 (1, 170㎡)	「川と台地と人々の暮らし」をテーマに5つのコーナーから構成され、実物資料はもとより精密なレプリカやジオラマなどを利用し、具体的に分かりやすい展示がされている。
		天文展示室 (127㎡)	「宇宙の中のわたしたち」をテーマに、地球・太陽・恒星について理解を深められるよう展示がされている。
		特別展示室 (487㎡)	常設展示とは別に、様々なテーマでの特別展示が行われる。
	学習スペース (453㎡)	実習実験室 (90㎡)	各種講座・観察会等を開催 6卓 48席
		情報コーナー (127㎡)	郷土の自然や歴史に関する記録映像、参考図書を収集。子ども向けの図書もあり、自由に閲覧できる。
		大会議室 (237㎡)	各種講座・講演会等を開催 椅子席で200人収容
プラネタリウム (648㎡)	プラネタリウム (648㎡)	室内に250席を配置し、小学校の一つの学年が一度に観覧できる。スクリーンは直径23mのドーム型で、星空等の投影のほか大型映像(全天周映画)を上映できる。	
保管・研究	研究スペース (1, 038㎡)	市民研究室 (294㎡)	自然と歴史分野の研究室が2階にあり、天文分野の研究室が1階にある。専門書の利用や学芸員への相談が行える。
		天体観測室 (74㎡)	口径40cmの反射望遠鏡が設置され、星空観望会等で実際に天体の観測を体験できる。
		整理作業室ほか	博物館資料の整理・加工・修理や調査研究を行うための諸室が設置されている。
	収蔵スペース (1, 570㎡)	特別収蔵庫ほか	各分野別資料を将来にわたって、安全・確実に保存するための収蔵庫が設置されている。
管理・共用	管理・共用スペース (3, 894㎡)	事務室、喫茶室 ミュージアムショップほか	休憩コーナーや軽食のとれる喫茶室、博物館関連のグッズを販売するミュージアムショップ、博物館の管理運営のための事務室や機械室がある。

(2) 施設管理

施設の設備管理、警備、清掃業務は外部委託している。

消防訓練 平成24年9月20日(木)
平成25年1月25日(金)

4 予 算

(単位：千円)

款	項	目	科目名	24年度予算額	25年度予算額	財源内訳	24年度
50	20	05	生涯学習施設維持補修費	80	68	一般財源	80
						特定財源	0
50	20	45	博物館費	257,267	263,602	一般財源	211,593
						特定財源	45,754
			計	257,347	263,670		

生涯学習施設維持補修費

節		説明		
区分	金額	博物館の運営及び維持管理に要する経費		
1 1 需用費	80	経費内訳		
			24年度	25年度
		1 施設修繕料	80	68
計	80	計	80	68

博物館費

節		説明		
区分	金額	博物館の運営及び維持管理に要する経費		
0 1 報酬	3,836	経費内訳		
0 4 共済費	352		24年度	25年度
0 7 賃金	8,280	1 博物館協議会経費	386	340
0 8 報償費	21,333	2 施設運営費	38,673	60,846
0 9 旅費	716	(1) 資料収集保存経費	4,255	5,254
1 1 需用費	70,738	(2) 資料調査研究経費	1,894	2,162
1 2 役務費	1,564	(3) 展示・教育普及事業経費	5,853	21,482
1 3 委託料	142,066	(4) プラネタリウム事業経費	26,139	31,429
1 4 使用料及び賃借料	8,188	(5) その他運営費	532	519
1 8 備品購入費	53	3 施設維持管理費	180,791	155,108
1 9 負担金、補助及び交付金	125	4 市史編さん事業	35,966	32,678
2 7 公課費	16	(1) 相模原市史編さん事業	12,597	20,729
		(2) 津久井町史編さん事業	23,369	11,949
		5 協働事業提案制度事業		4,522
		(1) 吉野宿ふじや活性化事業	—	1,440
		(2) 情報ネットワークセンター事業	—	3,082
		6 一般事務費	1,451	1,429
計	257,267	計	257,267	254,923
合計	257,347	合計	257,347	254,991.1

Ⅲ 教育普及

1 入館者数

- (1) 24年度計 **138,619人**
 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)
- (2) 総 計 **2,208,622人**
- (3) 詳 細

月	入館者数	プラネタリウム総数	プラネタリウム内訳			特別展	星 空 観望会	講演会 講座等	観覧料	開館 日数	1日 平均
			一般 投影	全天周 映画	学習 投影						
24年4月	9,034	3,288	2,194	984	110	5,377	89	273	¥1,106,750	26	347
5月	12,774	5,084	3,398	995	691	3,935	240	1,384	¥1,623,830	26	491
6月	11,213	4,630	2,213	671	1,746	6,707	52	552	¥1,262,770	26	431
7月	18,488	5,729	3,496	1,615	618	8,838	191	1,733	¥1,749,480	26	711
8月	20,002	9,530	6,533	2,997	—	11,781	386	840	¥3,091,370	28	714
9月	10,692	4,249	2,913	849	487	4,383	150	201	¥1,378,840	26	411
10月	9,740	3,271	1,521	585	1,165	5,378	188	274	¥900,620	26	375
11月	12,879	6,116	1,357	700	4,059	5,173	150	768	¥725,140	26	495
12月	6,181	2,544	1,341	443	760	3,070	184	317	¥613,970	23	269
25年1月	8,233	3,437	1,805	469	1,163	4,770	210	1,740	¥791,670	24	343
2月	9,465	3,833	1,780	579	1,474	3,925	211	359	¥919,330	24	394
3月	9,918	3,666	2,180	1,124	362	4,968	177	659	¥1,110,650	26	381
24年度計	138,619	55,377	30,731	12,011	12,635	68,305	2,228	9,100	¥15,274,420	307	452

※ (参考) 開館からの総計

7年度	78,395	38,262	16,796	12,688	8,778	22,199	618	836	¥11,099,520	107	733
8年度	125,599	58,023	26,849	20,571	10,603	36,682	1,237	3,186	¥18,187,120	300	419
9年度	105,793	43,355	18,654	16,055	8,646	28,388	1,104	3,167	¥12,233,880	300	353
10年度	107,306	45,038	18,577	17,747	8,714	24,779	624	5,696	¥12,820,900	299	359
11年度	115,031	53,660	20,759	23,651	9,250	36,670	665	5,255	¥15,325,720	295	390
12年度	111,161	46,879	17,302	18,777	10,800	31,658	634	5,258	¥11,921,600	302	368
13年度	132,776	59,062	20,169	28,312	10,581	57,647	910	4,574	¥14,329,780	305	435
14年度	119,068	48,791	19,702	18,277	10,812	55,672	925	4,277	¥12,221,160	303	393
15年度	126,120	53,625	18,655	24,859	10,111	51,538	1,133	6,873	¥13,904,050	302	418
16年度	111,610	45,780	19,555	16,139	10,086	39,551	1,050	5,148	¥11,562,090	300	372
17年度	116,552	52,466	19,404	22,223	10,839	47,479	844	5,725	¥12,776,280	301	387
18年度	113,605	52,948	16,783	25,516	10,649	49,588	773	6,896	¥14,321,720	303	375
19年度	122,375	49,875	15,973	23,156	10,746	58,218	925	8,245	¥13,369,000	304	403
20年度	128,124	52,294	18,612	22,017	11,665	58,436	1,294	11,517	¥13,831,800	303	423
21年度	136,000	50,540	16,458	23,109	10,973	64,653	1,846	9,681	¥13,679,160	303	449
22年度	182,880	78,991	22,457	44,068	12,466	103,988	1,861	6,249	¥25,095,880	301	608
23年度	137,608	61,648	24,887	24,099	12,662	70,716	1,283	9,438	¥17,780,860	306	450
24年度	138,619	55,377	30,731	12,011	12,635	68,305	2,228	9,100	¥15,274,420	307	452
総 計	2,208,622	946,614	362,323	339,275	191,016	906,167	19,954	110,401	¥259,734,840	5,241	421

2 企画展等

(1) 企画展「相模原市の遺跡 2012 田名塩田遺跡群とその時代」

- ア 内容 近年、発掘調査が行われた田名塩田遺跡群とその周辺遺跡出土品を紹介した。国指定史跡田名向原遺跡や縄文時代の集落跡、古墳など先人たちの暮らしの姿を秘めた数々の発見を展示した。
- イ 期間 3月17日(土)～5月6日(日)
- ウ 観覧料 無料
- エ 広報 市広報、ホームページ、ポスター、チラシ
- オ 観覧者 延べ 8, 347人 (4/1以降の観覧者数)
- カ 関連事業
4月22日(日) 遺跡巡り「田名塩田・当麻地区の遺跡を歩こう！」
参加者：37人

(2) ミニ企画展「自然観察会のはじまり」

- ア 内容 44年前、県内のある新興住宅地の住民と、大学生のグループが始めた“自然観察会”。この言葉のルーツとなった活動とそのひろがりを紹介した。
- イ 期間 5月26日(土)～7月1日(日)
- ウ 観覧料 無料
- エ 広報 市広報、ホームページ、ポスター、チラシ
- オ 観覧者 延べ 8, 212人

(3) 企画展「宇宙科学の先駆者たち～糸川英夫と小田稔」

- ア 内容 日本の宇宙開発の父であり、生誕100年を迎えた糸川英夫博士と、理学分野から宇宙科学の発展に寄与した小田稔博士の研究業績や人物像について紹介した。
- イ 期間 7月14日(土)から9月2日(日)まで
- ウ 観覧料 無料
- エ 広報 市広報、ホームページ、ポスター、チラシ
- オ 構成 ①日本の宇宙開発のはじまり
②ロケット開発の歴史
③X線観測の歴史
④歴代の人工衛星
- カ 観覧者 延べ 21, 063人
- キ 関連事業
7月22日(日) ワークショップ「かさ袋ロケットを作って飛ばそう」
参加者：42人

(4) 博物館実習生制作展

- ア 内容 博物館実習における実務実習の一環として、分野別の収蔵資料を中心とした展示制作を行い、実習生が企画・資料研究・パネル制作・列品・展示解説までを体験した。歴史・民俗・生物・地質分野の実習生が展示制作を行った。
- イ 期間 9月16日(日)～10月28日(日)まで
- ウ 観覧料 無料
- エ 広報 ホームページ、ポスター
- オ 観覧者 延べ 8, 777人

(5) 収蔵品展 「津久井郷土資料室資料紹介～内郷の学校と子どもたち～」

- ア 内容 津久井郷土資料室に保管されている膨大な量の資料類の整理を市民のボランティア（水曜会）が進めており、その一環として整理した資料の展示を行っている。
今回は、地域の小学校の資料を中心に、かつての子どもたちと地域の係わり合いを取り上げた。
- イ 期間 9月16日（日）～10月28日（日）まで
- ウ 観覧料 無料
- エ 広報 市広報、ホームページ、ポスター
- オ 構成 ①学びと行事
②地域のさまざまな出来事
- カ 観覧者 延べ 8,777人
- キ その他 会期中の日曜日には、水曜会会員が会場で観覧者に説明を行った。

(6) 企画展 「北里柴三郎展-伝染病の征圧は私の使命-」

- ア 内容 医学者・細菌学者として世界的な名声を博し「日本近代医学の父」とも呼ばれた北里柴三郎博士の業績と生涯を紹介した。
ペスト菌発明の論文草稿（ドイツ語）や破傷風菌についての直筆の論文原稿をはじめ、愛用の顕微鏡、教え子である野口英世からの手紙など貴重な資料を展示した。
- イ 期間 11月10日（土）～12月16日（日）
- ウ 観覧料 無料
- エ 広報 市広報、ホームページ、ポスター、チラシ
- オ 観覧者 延べ 7,623人
- カ 関連事業
- | | | |
|-----------|-------------------------|-----|
| 11月10日（土） | オープニングセレモニー（関係者のみ） | 59人 |
| 11月25日（日） | 講演会「伝染病との戦いー病原体の正体を暴けー」 | 78人 |
| | 講 師：北里柴三郎記念室次長 森 孝之さん | |
| 12月 2日（日） | 実験教室「顕微鏡による微生物の観察」 | |
| | 子ども向け（小学5年生～中学生） | 5人 |
| | 大人向け（中学生を除く15歳以上） | 13人 |
| | 講 師：北里大学薬学部北里会微生物研究会 | |

(7) 学習資料展 「大地さんと未来さんが見つけるちょっと昔の暮らし～学校と家庭と遊び。～」

- ア 内容 昔の道具や暮らしについて、昭和30～40年台を中心に「学校」、「家庭」、当時の子どもたちが夢中になった「遊び」を紹介した。また、期間中は市民学芸員によるチャレンジ体験コーナーやクイズラリーを行った。
- イ 期間 12月23日（日）～平成25年2月3日（日）
- ウ 観覧料 無料
- エ 広報 市広報、ホームページ、ポスター、チラシ
- オ 観覧者 延べ 6,118人

(8) 平成24年度かながわの遺跡展・巡回展 「勝坂縄文展」

- ア 内容 縄文時代の造形の中でも、特にさまざまな装飾で知られる勝坂式土器に焦点を当て、縄文土器の多様な姿と、名前の由来となった国指定史跡勝坂遺跡を紹介した。
- イ 期間 平成25年2月16日（土）～3月20日（水）
- ウ 観覧料 無料

- エ 広 報 市広報、ホームページ、ポスター、チラシ
オ 観覧者 延べ 8, 165人
カ 関連事業
- 2月17日(日) ワークショップ「めざせ！縄文ヒーロー！inさがみはら」
参加者 32人
- 3月2日(土) 講演会「縄文の造形と先史時代芸術」 参加者 118人
講 師 港 千尋さん(多摩美術大学教授)
- 3月3日(日) ワークショップ「きみも太郎！inさがみはら」
参加者 21人
- 3月9日(土) 考古学講座 参加者 170人
「勝坂遺跡と調査の歩み」
「勝坂式土器をつくった人びと」
講 師 河本雅人(相模原市教育委員会文化財保護課)
高橋智也(茅ヶ崎市教育委員会)
- 3月17日(日) ワークショップ「縄文土器の模様をさぐるinさがみはら」
参加者 26人

(9) 尾崎弔堂記念館企画展「新しく知る弔堂の横顔」

- ア 内 容 尾崎行雄(弔堂)が東京市長時代に米国ワシントンに桜を寄贈して百年記念の年にちなみ、初公開資料等をもとに郷土の偉人の人となりを紹介した。
- イ 期 間 7月15日(日)～9月15日(土)
- ウ 観覧料 無料
- エ 広 報 市広報、ホームページ、ポスター、チラシ
- オ 観覧者 延べ 383人
- カ 場 所 尾崎弔堂記念館

3 講座・講演会・教室・観望会等の事業

(1) 博物館のまわりのミニ観察会

- ア 内 容 博物館周辺で参加者といっしょに身近な生きものを見つける約30分間の観察会。
- イ 実施日 4月12日(土)～3月9日(土)までの概ね毎月1回(全13回)
- ウ 参加者 延べ 199名
- エ 講 師 当館学芸員

(2) 民俗講座「民俗学を知る・楽しむ」

- ア 内 容 地域の年中行事など、具体的な事柄から民俗学の視点を学んだ。
- イ 実施日 4月21日(土)～3月16日(土)までの毎月1回(全12回)
- ウ 参加者 延べ 1,217名
- エ 講 師 当館学芸員

(3) 田名塩田・当麻地区の遺跡を歩こう！

- ア 内 容 田名塩田遺跡群や旧石器ハテナ館、史跡田名向原遺跡公園などを探訪した。
- イ 実施日 4月22日(日)
- ウ 参加者 37人
- エ 講 師 当館学芸員

(4) 星空観望会

- ア 内容 季節に応じた天体観測により天文知識の普及を図った。
※ 開催回数を月 2 回（8 月のみ 5 回：事前申込み／抽選）、当日受付先着 120 人の定員として実施した。
- イ 実施日 金曜日、土曜日
- ウ 参加者 延べ 2, 228 人（27 回実施）
※スターウォッチング（7 月 21 日、1 月 26 日）の参加者も含む。
- エ 対応 当館天文担当職員、プラネタリウム解説員、市民学芸員

(5) 天体観測室公開

- ア 内容 日中、天体観測室を開放し、昼間の星を観察した。
- イ 実施日 5 月 4 日（金）、5 日（土）、6 日（日）
- ウ 参加者 延べ 583 人
- エ 対応 博物館天文クラブ（SMAC）

(6) 2012 天文教室「金環日食・金星の太陽面通過」

- ア 内容 日食が起こる時期や、江戸時代の暦と天文学、2 つの天文ショーの観察方法などを学んだ。
- イ 実施日 5 月 12 日（土）～6 月 9 日（土） 全 7 回
- ウ 参加者 延べ 137 人
- エ 対応 当館天文担当職員

(7) 公開講演会「江戸の暦づくりと天文学」-日食はいつ起きるのか？ 渋川春海など天文学者たちの苦闘

- ア 内容 渋川春海など当時の天文学者たちが、日食に取り組んだ苦闘を解説した。
- イ 実施日 5 月 12 日（土）
- ウ 参加者 141 人
- エ 講師 中村 士さん（帝京平成大学教授）

(8) 地質学講座「2 億年前の海底を歩くー多摩川 御岳溪谷の地質ー」

- ア 内容 多摩川上流の鳩ノ巣溪谷と御岳溪谷で、約 2 億年前の海底で形成された岩石を観察し、関東山地の成り立ちについて学んだ。
- イ 実施日 5 月 13 日（日）～6 月 10 日（日） 全 4 回
- ウ 参加者 延べ 89 人
- エ 講師 当館学芸員

(9) 金環日食直前ガイド

- ア 内容 5 月 21 日（日）午前 7 時 32 分から 5 分間見ることができる金環日食の仕組みや適切な観察方法を説明した。
- イ 実施日 5 月 20 日（日）
- ウ 参加者 288 人
- エ 講師 阪本成一さん（JAXA 宇宙科学研究所教授）

(10) 金星の太陽面通過を観察するつどい

- ア 内容 6 月 6 日に金星が太陽面を通過するのに合わせ、天体観測室を公開し望遠鏡で観察した。
- イ 実施日 6 月 6 日（水）
- ウ 参加者 96 人
- エ 対応 当館天文担当職員

(11) 「はやぶさの日」認定記念全天周映画無料上映

- ア 内容 「はやぶさの日」認定を記念して、全天周映画「HAYABUSA BACK TO THE EARTH～帰還バージョン・ディレクターズカット」を無料で上映した。
- イ 実施日 6月13日(水)
- ウ 参加者 87人

(12) 植物学教室「花の観察と植物画」

- ア 内容 植物を正確に描いて花や葉の構造を知り、自然の造形の美しさを学んだ。
- イ 実施日 6月16日(土)～6月17日(日) 全2回
- ウ 参加者 延べ 36人
- エ 講師 豊田路子さん(植物画家)、当館学芸員

(13) 火山灰を顕微鏡で見よう

- ア 内容 火山灰に含まれている鉱物を顕微鏡で観察します。
- イ 実施日 6月24日(日)
- ウ 参加者 132人
- エ 講師 当館学芸員、相模原地質研究会、相模原青陵高校地球惑星科学部

(14) 博物館で楽しく学ぼう「夏休み子ども学習相談」

- ア 内容 夏休みの自由課題・研究などについて、学芸員や学習指導員がアドバイスをを行った。
- イ 実施日 7月20日(金)～9月1日(土)
- ウ 参加者 延べ 90人
- エ 講師 当館学芸員、学習指導員

(15) JAXA連携企画関連事業 ワークショップ「かさ袋ロケットを作って飛ばそう」

- ア 内容 かさ袋でロケットを作って、ロケットの仕組みを学んだ。
- イ 実施日 7月22日(日)
- ウ 参加者 42人
- エ 対応 当館天文担当職員、市民学芸員

(16) JAXA相模原キャンパス特別公開関連事業

- ア 内容 主にこどもを対象にした「宇宙学校スペシャル」、プラネタリウムでのミニ講演会を開催した。(延べ 10回)
- イ 実施日 7月27日(金)、28日(土)
- ウ 参加者 延べ 1,414人
- エ 対応 JAXA研究者

(17) 夏休み親子天文教室「手づくり天体望遠鏡」

- ア 内容 親子で天体望遠鏡工作キットを組み立て、天体を観察した。
- イ 実施日 7月31日(火)
- ウ 参加者 83人
- エ 講師 当館天文担当職員、博物館天文ボランティア

(18) 子ども鉱物教室「鉱物のふしぎ」

- ア 内容 ミョウバン結晶の育成実験や鉱物の硬さ比べなどを通して、鉱物についての初歩を学習した。
- イ 実施日 7月31日(火)、8月7日(火) 全2回

- ウ 参加者 延べ 60人
- エ 講師 当館学芸員

(19) 金星探査機あかつきトークライブ

- ア 内容 金星探査機あかつきについて、そのミッションを振り返るとともに、研究者を囲んでトークライブを開催した。
- イ 実施日 ①8月5日(日) 「金星とあかつきミッション」
②10月27日(土) 「惑星の気象」
③12月15日(土) 「探査機の電源」
④平成25年2月24日(日) 「探査機の軌道」
- ウ 参加者 ①59人
②63人
③68人
④85人
- エ 講師 ①佐藤毅彦さん(JAXA宇宙科学研究所教授)
②今村 剛さん(JAXA宇宙科学研究所准教授)
③豊田裕之さん(JAXA宇宙科学研究所助授)
④廣瀬史子さん(JAXA宇宙科学研究所主任開発員)

(20) あなたも学芸員「子どものための博物館実習」

- ア 内容 博物館の裏側部分の見学と、学芸員の業務を体験してもらった。
- イ 実施日 8月21日(火)、8月22日(水) 全2回
- ウ 参加者 26人
- エ 講師 当館学芸員

(21) 探検!クイズラリー!!

- ア 内容 自然・歴史及び天文常設展示室の内容を問題に設定し、クイズラリー形式で、小学生を中心とした来館者に展示内容を知らせる機会とした。
- イ 実施日 8月25日(土)、8月26日(日) 全2回
- ウ 参加者 延べ 533人
- エ 案内 市民学芸員

(22) 小中学生のための生物学教室

- ア 内容 実験や観察を中心にちょっと専門的な生物学について学んだ。
- イ 実施日 8月29日(水)
- ウ 参加者 21人
- エ 講師 松橋利光さん(動物カメラマン)、後藤貴浩さん(ペットショップオーナー)

(23) 民俗講演会「生老病死の今-災害から考える生死の民俗-」

- ア 内容 各種災害と向き合いながら、人々はどう生き、またどのような供養や慰霊を行ってきたのかを通じて、民俗学の視点から日本人の生死観について考えた。
- イ 実施日 8月26日(土)
- ウ 参加者 55人
- エ 講師 板橋春夫さん(國學院大學兼任講師)

(24) 市史講演会「相模原市の縄文遺跡」

- ア 内容 相模原市史考古編の刊行に併せ、「相模原市の縄文遺跡」と題し旧相模原市域に残る縄文遺跡の特徴について講演を行った。
- イ 実施日 9月23日(日)
- ウ 参加者 100人
- エ 講師 山本暉久さん(昭和女子大学教授)

(25) 町史講演会「江戸時代の津久井」第1回 ペリー来航・横浜開港と津久井の人びと

- ア 内容 『津久井町史資料編近世2』に収録された古文書を読み解き、江戸時代の津久井の人々の暮らしぶりに迫る講演会(全3回)。1回目は、ペリー来航や横浜開港が津久井の人々の暮らしにどのような影響を与えたのかを紹介。
- イ 実施日 10月13日(土)
- ウ 参加者 55人
- エ 講師 西川武臣さん(横浜開港資料館副館長、津久井町史近世部会部会長)

(26) 歴史講演会「大正デモクラシーと罌堂・尾崎行雄」

- ア 内容 郷土出身の著名な政治家・尾崎行雄(罌堂)が大正時代に残した憲政擁護運動を振り返り、近代日本の歩みを学んだ。
- イ 実施日 10月28日(日)
- ウ 参加者 52人
- エ 講師 石田尊昭さん(尾崎行雄記念財団事務局長)

(27) 町史講演会「江戸時代の津久井」第2回 娯楽と旅-お伊勢参りの道中日記

- ア 内容 『津久井町史資料編近世2』に収録された古文書を読み解き、江戸時代の津久井の人々の暮らしぶりに迫る講演会(全3回)。2回目は、青野原村の永井市之丞が記録した伊勢参宮日記から、当時の人々が楽しんだ旅の様子を紹介。
- イ 実施日 11月10日(土)
- ウ 参加者 55人
- エ 講師 原和之さん(津久井町史専門調査員)

(28) 民俗探訪会「田名地区を歩く」

- ア 内容 田名地区の寺社や石仏などの見所を案内した。
- イ 実施日 11月14日(水)
- ウ 参加者 41人
- エ 講師 当館学芸員及び民俗調査会A会員

(29) 学びの収穫祭

- ア 内容 博物館で活動するボランティアや学生が、日頃の活動や研究などの成果を発表したほか、ボランティアによるワークショップなどを実施した。
- イ 実施日 11月17日(土)、18日(日)
- ウ 参加者 延べ 506人

(30) 北里柴三郎展関連講演会「伝染病との戦い-病原体の正体を暴け-

- ア 内容 北里柴三郎の業績と予防医学の研究を傾けるきっかけとなった要因などについて紹介した。
- イ 実施日 11月25日(日)
- ウ 参加者 78人
- エ 講師 森孝之さん(北里研究所北里柴三郎記念室 医学博士)

(31) 町史講演会「江戸時代の津久井」第3回 津久井の山林-御林を中心に-

- ア 内容 『津久井町史資料編近世2』に収録された古文書を読み解き、江戸時代の津久井の人々の暮らしぶりに迫る講演会（全3回）。3回目は、津久井の山林の概要に触れるとともに、特に、御林（おはやし）と呼ばれた領主の山林の変遷について紹介。
- イ 実施日 12月15日(土)
- ウ 参加者 54人
- エ 講師 当館職員

(32) 講演会「雲の観察と観天望気」

- ア 内容 雲の成り立ちや、空の観察から見えてくる天気の様子や移り変わりなどを解説。
- イ 実施日 12月23日(日)
- ウ 参加者 82人
- エ 講師 岩槻秀明さん（気象予報士）

(33) 学習資料展関連事業「チャレンジ体験コーナー」

- ア 内容 「フラフープ」や「割り箸鉄砲」、石臼ひき」などを体験した。
- イ 実施日 平成25年1月6日（日）～27日の日曜日、14日（祝）
- ウ 参加者 延べ 1,496人

(34) 博物館で学ぶ生物学講座

- ア 内容 生きものに興味のある小・中学生から、生物学の基礎を学び直したいと思っている大人まで楽しめる高校生物学程度の「授業」を開講した。顕微鏡を使った観察実習も行われた。
- イ 実施日 平成25年1月19日（土）、1月26日（土）、2月9日（土） 全3回
- ウ 参加者 延べ 84人
- エ 講師 当館学芸員

(35) SELENEシンポジウム 月・惑星探査講座

- ア 内容 月周回衛星「かぐや」(SELENE:セレーネ)などの探査機の観測成果や、今後の計画などについて、基調講演会、パネルディスカッションを開催した。
- イ 実施日 平成25年1月25日（金）
- ウ 参加者 91人
- エ 講師 景山えりかさん（文筆家/アストロ・コミュニケーター）、橋本樹明さん（JAXA 宇宙科学研究所教授）、佐伯和人さん（大阪大学大学院准教授）、中須賀真一さん（東京大学大学院教授）、辻 健さん（九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所准教授）、高橋幸弘さん（北海道大学大学院教授）、藤本正樹さん（JAXA 宇宙科学研究所教授）

(36) 歴史講座「村を知る講座」

- ア 内容 「村(ムラ)」のとらえ方・考え方を学び、相模原の近現代までのムラの移り変わりを概観しながら、市域4近世村を事例に村のすがたを理解した。
- イ 実施日 平成25年2月3日(日)、10日(日)、17日(日)、24日(日) 全4回
- ウ 参加者 延べ 78人
- エ 講師 当館学芸員

(37) 勝坂縄文展関連事業「めざせ！縄文ヒーロー！inさがみはら」黒曜石で石器作り

- ア 内容 縄文人が実際に使った鹿の角などをもちい、黒曜石を加工して石器を作成する体験教室を行った。
イ 実施日 平成25年2月17日(日)
ウ 参加者 32人
エ 講師 千葉 毅さん(神奈川県立歴史博物館職員)

(38) 勝坂縄文展記念事業「縄文の造形と先史時代芸術」

- ア 内容 美術史的視点から見た縄文時代の土器や土偶などの造形について講演を行った。
イ 実施日 平成25年3月2日(土)
ウ 参加者 118人
エ 講師 港 千尋さん(多摩美術大学教授)

(39) 勝坂縄文展関連事業「きみも太郎！inさがみはら」縄文土器をカメラで撮る、描く

- ア 内容 トイカメラで縄文土器を撮影し、縄文土器に光を当てた岡本太郎の表現の再体験を行った。
イ 実施日 平成25年3月3日(日)
ウ 参加者 21人
エ 講師 千葉 毅さん(神奈川県立歴史博物館職員)

(40) 勝坂縄文展関連事業 考古学講座「勝坂縄文展」

- ア 内容 「勝坂遺跡と調査の歩み」と題した勝坂遺跡の調査履歴の講演と、「勝坂式土器をつくった人びと」と題した縄文人の精神的・物質的活動に着目した講演を行った。
イ 実施日 平成25年3月9日(土)
ウ 参加者 170人
エ 講師 河本雅人(相模原市教育委員会文化財保護課)
高橋智也(茅ヶ崎市教育委員会)

(41) まちだ・さがみはら 絆・創・光 × JAXA

- ア 内容 「はやぶさ2プロジェクトに関する講演会」と、話題のパンスタース彗星の観察にチャレンジした。(町田市と2会場で開催)
イ 実施日 平成25年3月11日(月)
ウ 参加者 95人
エ 講師 矢野 創さん(JAXA宇宙科学研究所助教)、猿楽祐樹さん(JAXA宇宙科学研究所研究員)

(42) 勝坂縄文展関連事業「縄文土器の模様をさぐるinさがみはら」縄文土器を観察、描く、写す、作る

- ア 内容 小中学生を対象とし、縄文土器の拓本をとり、模様を観察するワークショップを行った。
イ 実施日 3月17日(日)
ウ 参加者 26人
エ 講師 千葉 毅さん(神奈川県立歴史博物館職員)

(43) 市史講演会 「相模原市の商業政策をめぐる現代史～大型店の「出店調整」はどう行われたか？」

- ア 内容 出店側・商業者・消費者・行政の動きをとらえながら、大型店進出について紹介した。
- イ 実施日 平成25年3月24日(日)
- ウ 参加者 52人
- エ 講師 箸本健二さん(早稲田大学教育・総合科学学術院教授)

4 プラネタリウム・全天周映画

(1) 平成24年度観覧者合計 55,377人

(2) 一般投影(プラネタリウム)

- ア 内容 解説員による季節の星空解説と企画番組で構成(所要約40分)
- イ 番組 「今、太陽がおもしろい」
4月1日(日)～6月6日(水)
「火星人をさがせ！」
6月7日(木)～6月30日(土)
「あかり 赤外線天文衛星が見た宇宙」
7月1日(日)～9月2日(日)
「スペースミュージアムへようこそ～ハッブル宇宙望遠鏡の見た宇宙」
9月4日(火)～9月30日(日)
「太陽が時を刻む～相模原にもあった神秘のライン～」
10月2日(火)～12月27日(木)
「地球観測衛星だいちの活躍」
平成25年1月4日(金)～3月31日(日)
- ウ 開始時間 平日、土・日・祝日・特別上映期間…午後2時40分
- エ 観覧者 14,569人

(3) 一般投影(こどもプラネタリウム)

- ア 内容 解説員による季節の星空解説と企画番組で構成(所要約40分)
※ 親子で一緒にプラネタリウムを楽しめる番組として、平成23年度から新規に投影を開始した。
- イ 番組 「おしえて!さがぼん 宇宙のおしごと」
〔平成24年1月4日(水)〕～12月27日(木)
「おしえて!さがぼん お日さまって何いろ?」
平成25年1月4日(金)～継続投影
- ウ 開始時間 土・日・祝日・特別上映期間…午前11時
- エ 観覧者 7,424人(24年度累計)

(4) 一般投影(星空模様)

- ア 内容 解説員による季節の星空解説(所要約40分)
※ プラネタリウムならではの満天の星空を、解説員のフル生解説で楽しめる番組として、平成24年度から新規に投影を開始した。4月5日(木)～通年
- イ 開始時間 平日、土・日・祝日・特別上映期間…午後3時50分
- ウ 観覧者 8,738人

(5) 全天周映画

- ア 内容 大型映像の全天周映画作品を上映
イ 番組 ①「銀河鉄道の夜」(所要約35分)
[平成21年7月11日(土)]～4月4日(水)
②「HAYABUSA BACK TO THE EARTH～帰還バージョン・ディレクターズカット」(所要約45分)
[平成23年1月8日(土)]～通年
ウ 開始時間 ①土・日・祝日・特別上映期間…午後3時50分
②土・日・祝日・特別上映期間…午後1時30分
エ 観覧者 12,011人

(6) 学習投影

- ア 内容 小中学校、幼稚園・保育園の団体観覧用の番組
イ 番組 小中学校向け「月の形と動き」
「星の動き(夏/冬)」
「空を見上げると(夏/冬)」
「太陽と惑星」
「太陽系の仲間たち」
「月の形と動き」
幼児向け「うちゅうの七にんきょうだい」
「ピーターパンのぼうけん」
「ぼくらのうちゅうりょこう～ダーツでめぐる銀河の旅～」
「おしえて!さがぼん お月さまってなあに?」
「おしえて!さがぼん 宇宙のおしごと」
「おしえて!さがぼん お日さまって何いろ?」※新規※
ウ 投影時間 事前に利用団体と調整し、平日の午前1回、午後1回(最大)投影
エ 観覧者 12,635人

(7) 広報

プラネタリウム・全天周映画番組ごとに案内ポスター・パンフレットを作成

5 その他

(1) 情報サービスコーナー

- | | | |
|--------------------|---|------|
| ビデオ作品年間視聴回数 | 計 | 145回 |
| DVDライブラリー作品年間視聴回数 | 計 | 512回 |
| CD-ROM文庫のソフト年間閲覧回数 | 計 | 11回 |

6 学校と博物館の連携を進める研究会

(1) 趣 旨

学校教育の場で児童・生徒の多様な学習要求に応じた幅広い学習活動充実のために、博物館の効率的かつ積極的な利用を図り、博物館の持っている機能を十分に生かす学校と博物館の連携のあり方を研究・協議する機関。

(2) 委員構成 任期2年（平成24年7月1日～平成26年6月30日）

氏 名	備 考
根 岸 幸 雄	由野台中学校総括教諭 委員長
近 藤 信 一	共和小学校総括教諭 副委員長
立 石 忠 幸	新磯小学校教諭
堀 江 美紀子	中野小学校教諭
長 かおる	中央小学校教諭
米 谷 幸 久	青葉小学校教諭
吉 田 次 朗	弥栄中学校教諭
保 坂 啓 介	上溝南中学校教諭

(3) 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	7月25日（水）	委嘱状交付 委員長・副委員長の選出 第8期研究会の構想 質疑応答、意見交換 館内施設見学
2	11月6日（火）	「博物館貸し出しキット」についての意見交換 内容の改善点について 借り方等システム上の問題点について 広報活動について
3	2月8日（金）	「博物館貸し出しキット」の広報活動について 来年度行う広報活動についての確認 アンケートの実施 チラシ・パンフレットの作成 貸し出しキットを使った授業の実践報告

7 広報・出版等

(1) 印刷物・刊行物

- ア 企画展・学習資料展のポスター・パンフレット等
- イ プラネタリウム・全天周映画のポスター・パンフレット等

(2) 有償刊行物一覧 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

博物館と市役所行政資料コーナー等で販売

売上総計 978,240 円

書名	販売価格	発行年月	売上冊数
①博物館			
			図録・報告書等売上 106,040 円
ア、特別展・企画展図録等			
郷土の巨匠・岩橋英遠展	¥1,000	H7. 11	完売
江南の至宝	¥1,300	H8. 2	完売
相模原の昆虫－身近にいる小さな仲間たち－	¥350	H8. 4	完売
日本の宇宙開発	¥1,000	H8. 11	完売
絵図から地形図へ－近代地形図の誕生と発展－	¥2,550	H9. 7	完売
太陽系－母なる太陽とその家族を巡る－	¥700	H9. 11	完売
浮世絵名品展	¥1,800	H10. 9	完売
水生昆虫の世界－水の中の小さな虫たち－	¥1,200	H11. 7	完売
描かれた農耕の世界	¥1,500	H11. 10	完売
花を描き、花を知る－植物画の魅力－	¥1,200	H12. 7	完売
幕末・維新の相模原－村の殿様 旗本藤澤次謙と村人たち－	¥1,500	H12. 10	完売
星の測量－角度をはかり、位置をもとめる－	¥700	H13. 7	5
”道”再発見－道の役割とその移りかわり－	¥1,500	H13. 10	完売
昆虫のふしぎ	¥500	H14. 7	6
水晶ってすばらしい！－その美と実用の魅力－	¥1,000	H15. 7	2
晃嶺の百花譜	¥1,500	H16. 7	6
相模原－その開発と変貌－	¥800	H16. 10	16
地球 46 億年	¥900	H17. 7	3
相模川・桂川流域の縄文時代	¥950	H18. 10	完売

イ、報告書等

研究報告第 7 集 1999	¥850	H10. 3	完売
研究報告第 8 集 2000	¥850	H11. 3	完売
研究報告第 9 集 2001	¥900	H12. 3	完売
研究報告第 10 集 2002	¥900	H13. 3	完売
研究報告第 11 集 2002	¥850	H14. 3	完売
研究報告第 12 集 2003	¥900	H15. 3	0
研究報告第 13 集 2004	¥900	H16. 3	0
研究報告第 14 集 2005	¥900	H17. 3	0
研究報告第 15 集 2006	¥1,050	H18. 3	1
研究報告第 16 集 2007	¥1,150	H19. 3	0
研究報告第 17 集 2008	¥1,150	H20. 3	1
研究報告第 18 集 2009	¥700	H21. 3	2
研究報告第 19 集 2010	配布のみ	H22. 3	－
研究報告第 20 集 2012	配布のみ	H24. 3	－

平成 24 年度相模原市立博物館年報

研究報告第 2 1 集 2013	配布のみ	H25. 3	—
相模原市民俗調査報告書 大島地区の自然と文化	¥900	H10. 3	完売
地図資料目録Ⅱ 一般図・主大図・地形図	¥1,200	H12. 3	完売
桐生亮コレクション標本目録	¥1,150	H13. 3	完売
相模原市民俗調査報告書 大島・上矢部・田名・上溝・当麻地区の民俗	¥600	H14. 3	3
資料目録 4 テフラ標本目録	¥850	H15. 3	2
資料目録 5 相模原植物誌Ⅰ	¥600	H15. 3	1
古淵B遺跡旧石器時代資料再整理調査報告書	¥850	H17. 3	6
博物館所蔵古文書目録	¥900	H17. 3	3
境川流域民俗調査報告書	¥500	H17. 3	完売
博物館資料調査報告書 相模川の水生昆虫	¥1,700	H20. 3	2
さがみはら自然ガイド カエル見つけた！！	¥180	H21. 5	23
ウ、展示解説書			
常設展示解説書	¥1,000	H8. 11	50

②市史・町史

博物館と市役所行政資料コーナー及び市書店共同組合加盟店で委託販売
市史・町史計 872,200 円

ア、相模原市史

相模原市史 第 1 巻 (中世以前通史)	¥2,300	S39. 11	4
相模原市史 第 2 巻 (近世通史)	¥3,400	S42. 3	2
相模原市史 第 3 巻 (近代通史)	¥2,800	S44. 2	1
相模原市史 第 4 巻 (現代通史)	¥3,200	S46. 3	1
相模原市史 第 5 巻 (中世・近世資料集)	¥4,500	S40. 11	0
相模原市史 第 6 巻 (近代資料集)	¥3,200	S43. 2	0
相模原市史 第 7 巻 (別編)	¥1,900	S47. 3	1
相模原市史 現代図録編	¥1,500	H16. 11	22
相模原市史 現代資料編	¥3,700	H20. 3	3
相模原市史 自然編	¥3,400	H21. 5	27
相模原市史 民俗編	¥2,550	H22. 3	22
相模原市史 民俗編DVD版	¥1,550	H22. 3	5
相模原市史 現代通史編	¥2,100	H23. 3	12
相模原市史 考古編	¥2,650	H24. 3	162
相模原市史ノート創刊号	¥ 350	H16. 3	7
相模原市史ノート第 2 号	¥ 700	H17. 3	2
相模原市史ノート第 3 号	¥ 600	H18. 3	2
相模原市史ノート第 4 号	¥ 600	H19. 3	4
相模原市史ノート第 5 号	¥ 600	H20. 3	1
相模原市史ノート第 6 号	¥ 700	H21. 3	1
相模原市史ノート第 7 号	¥ 700	H22. 3	3
相模原市史ノート第 8 号	¥ 650	H23. 3	6
相模原市史ノート第 9 号	¥ 700	H24. 3	13
相模原市史調査報告書 1 旧石器時代遺跡資料調査報告書	¥1,400	H19. 3	2
相模原市史調査報告書 2 動植物調査目録	¥2,400	H21. 3	6
相模原市史調査報告書 3 相模原周辺の関東ローム層中の植物珪酸体からみた過去 8 万年間の気候植生変化	¥1,500	H21. 3	5
相模原市史調査報告書 4 相模原市地域の第 4 紀地史研究のための指標テフラ (火山灰)	¥2,300	H21. 3	4

平成 24 年度相模原市立博物館年報

相模原市史調査報告書 5 縄文時代遺跡資料調査報告書	¥1,000	H21. 3	9
相模原市史調査報告書 6 勝坂有鹿谷祭祀遺跡資料報告書	¥1,350	H22. 3	6
相模原市史調査報告書 7 当麻山無量光寺歴代人墓所石造塔婆群調査報告書	¥1,200	H23. 3	11

イ、城山町史

城山町史 1 資料編 考古・古代・中世	¥7,000	H4. 3	0
城山町史 2 資料編 近世	¥6,000	H2. 3	0
城山町史 3 資料編 近現代	¥7,000	H5. 3	0
城山町史 4 資料編 民俗	¥5,150	S63. 3	0
城山町史 5 通史編 原始・古代・中世	¥3,500	H7. 3	1
城山町史 6 通史編 近世	¥3,500	H9. 3	1
城山町史 7 通史編 近現代	¥3,500	H9. 3	0
城山風土記 1 近現代編	¥ 600	H3. 3	1
城山風土記 2 近世文書を読むために	¥ 700	H6. 3	2
城山風土記 3 九十歳の雑記帳	¥ 600	H7. 3	0
城山風土記 4 歴史・民俗編	¥ 600	H8. 8	1
城山風土記 5 町の歩みをふりかえる	¥ 600	H9. 3	1
城山町史資料所在目録 近世文書	¥3,600	S60. 3	0
城山町史資料所在目録 近現代文書・近世文書補遺	¥2,900	S61. 12	0
城山町史新聞記事目録	¥1,200	S62. 3	0
町史の窓（復刻版）	¥1,100	H18. 3	2

ウ、津久井町史

津久井町史 資料編 近世 1	¥2,000	H16. 3	0
津久井町史 資料編 考古・古代・中世	¥2,900	H19. 3	6
津久井町史 資料編 近代・現代	¥3,150	H21. 2	1
津久井町史 資料編 近世 2	¥3,550	H23. 3	1
ふるさと津久井 第 1 号	¥1,000	H12. 3	完売
ふるさと津久井 第 2 号 特集 山に生きる	¥1,000	H13. 3	完売
ふるさと津久井 第 3 号（特別号） 津久井の古地図	¥1,000	H14. 3	完売
ふるさと津久井 第 4 号 特集 養蚕と織物(1)	¥1,000	H15. 9	完売
ふるさと津久井 第 5 号 特集 養蚕と織物(2)	¥ 750	H24. 3	9
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅰ」	¥1,700	H16. 3	1
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅱ」	¥1,500	H20. 3	1
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅲ」	配布のみ	H24. 3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅲ」CD版	配布のみ	H24. 3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の植物」	配布のみ	H24. 3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の植物」CD版	配布のみ	H24. 3	-
津久井町史資料目録 公文書 1	¥2,300	H22. 3	0
津久井町史資料目録 公文書 2	¥1,700	H24. 3	1
津久井町史資料叢書 事務報告 1	¥1,850	H22. 3	1
津久井町史資料叢書 事務報告 2	¥1,850	H22. 3	0

エ、相模湖町史

相模湖町史 歴史編	¥14,000	H13. 3	1
相模湖町史 民俗編	¥ 5,600	H19. 2	4
相模湖町史 自然編	¥11,550	H20. 2	0

オ、藤野町史

藤野町史 資料編上	¥3,000	H6. 3	1
藤野町史 資料編下	¥3,000	H6. 3	0
藤野町史 通史編	¥4,000	H7. 3	4
ふじの町史 研究誌 (第 1 号)	¥ 600	H2. 11	0
ふじの町史 研究誌 (第 2 号)			完売
ふじの町史 研究誌 (第 3 号)	¥ 600	H5. 3	1
ふじの町史 研究誌 (第 4 号)		H6. 2	完売
ふじの町史 研究誌 (第 5 号)	¥ 600	H8. 3	0

(3) 他の機関等との関連

ア ポスター掲示

印刷物、刊行物の各ポスターを、市各機関・近隣博物館等へ送付し、掲示を依頼した。

イ 記事提供

広報さがみはら、相模原記者クラブ、新聞・雑誌・タウン誌等のメディアなどへ記事・パンフレットなどの情報を提供した。

ウ 放送番組ロケ

J-COM、FMさがみ、ショッパーなど博物館を紹介するテレビ・ラジオ番組の取材に対応した。

8 博物館学芸員実習

学芸員資格習得のための実習として、8月1日～9月29日の内、実質9日間に15人を受け入れた。分野別受入大学は以下のとおり。

分野	学校名	人数	分野	学校名	人数
歴史	中央大学	1	生物	北里大学	1
	東海大学	2		首都大学東京	1
	帝京大学	1		東京農業大学	1
民俗	専修大学	1	地質	駒沢大学	1
	女子美術大学	1		麻布大学	1
	青山学院大学	1	天文	神奈川工科大学	1
		桜美林大学		1	
		工学院大学		1	

9 学習利用

学校及びそれに類する団体の利用（プラネタリウム学習投影、展示学習、職業体験等）について、依頼に基づき博物館職員が対応した。

月	件数	人数	月	件数	人数	月	件数	人数	
4月	2	214	8月	5	260	12月	10	814	
5月	13	832	9月	8	573	1月	24	1,608	
6月	34	2,025	10月	24	1,396	2月	31	1,751	
7月	16	677	11月	46	4,614	3月	14	797	
							年計	227	15,561

10 博物館職員の講師依頼等

市内各公民館・小中学校等で実施される講座・研修等について、依頼に基づき博物館職員を講師として派遣した。(これに類するものも記載) 55件

	演題等	依頼者	月 日	場 所	担 当
1	環境学習セミナーと野鳥調査	環境情報センター	5月11日(金)	相模川流域	秋山幸也
2	相模野の古道と相模台の成り立ち	相模台公民館	5月17日(木)	相模台公民館	加藤隆志
3	歴史講座「道」について その1	大野台公民館	5月25日(金)	大野台公民館	加藤隆志
4	憲政の父と云われた「我が故郷の偉人・尾崎行雄」について	相模原南ロータリークラブ	5月29日(火)	相模大野伊勢丹7階	土井永好
5	歴史講座「道」について その2	大野台公民館	6月1日(金)	大野台公民館	加藤隆志
6	エンジョイつくい〜つくい歴史ウォーキング〜	津久井中央公民館	6月3日(日)	青山・長竹	井上泰
7	台地の形成と城山の地形・地質	文化財保護課	6月13日(水)	津久井湖城山公園研修棟	河尻清和
8	遊 you ラン土「七夕かざり作りとプラネタリウム」	小山公民館	6月16日(土)	小山公民館	有本雅之
9	地域を知る講座〜大沼からさがみはら〜 その1	大沼公民館	6月17日(日)	大沼公民館	土井永好
10	シンポジウム<地域史と博物館>「市民参加」・「市民協働」と博物館ーこれからの博物館は何を目指すのかー	神奈川地域史研究会	6月23日(土)	横浜市歴史博物館講堂	加藤隆志
11	第3回環境学習セミナー 相模原市のセミの状況 他	環境情報センター	6月30日(土)	環境情報センター	木村知之
12	「七夕お楽しみ会」	大野南公民館	7月7日(土)	大野南公民館	有本雅之
13	勝坂を学ぼう! 「植物講座」	文化財保護課	7月8日(日)	史跡勝坂遺跡公園	秋山幸也
14	天体について	県立神奈川総合産業高校	7月19日(木)	神奈川総合産業高校	有本雅之
15	大日野原遺跡子ども発掘探検隊	藤野中央公民館	8月4日(土)	大日野原遺跡	正洋樹
16	勝坂を学ぼう! 「生物講座」	文化財保護課	8月5日(日)	史跡勝坂遺跡公園	木村知之
17	大日野原遺跡子ども発掘探検隊	藤野中央公民館	8月17日(金)	藤野中央公民館	正洋樹
18	境川流域にみる人々の生活と史跡	相武歴史研究会	8月28日(火)	南保健福祉センター	加藤隆志
19	大日野原遺跡子ども発掘探検隊	藤野中央公民館	8月28日(火)	藤野中央公民館	正洋樹

平成 24 年度相模原市立博物館年報

20	青根歴史ウォーキング	青根小・中学校	8月29日(水)	青根中学校 周辺	井上泰
21	私たちの住む大地を知る「相模原台地の生い立ち」	星が丘公民館	9月20日(木)	星が丘公民館	河尻清和
22	二十四節気や身近な行事を学ぶ	大野北公民館	10月12日(金)	大野北公民館	加藤隆志
23	地方史研究協議会大会報告	地方史研究協議会	10月21日(日)	立正大学大崎 キャンパス	加藤隆志
24	自分たちがやってきた年中行事の今昔の比較とまとめ	大野北公民館	10月26日(金)	大野北公民館	加藤隆志
25	相模原の伝説と言い伝え	大野北公民館	11月1日(木)	大野北公民館	加藤隆志
26	出前授業「昔の道具」	夢の丘小	11月2日(金)	夢の丘小学校	渡邊直展
27	麻溝マスター養成講座『麻溝地区の自然』	麻溝観光協会	11月6日(火)	麻溝公民館	秋山幸也
28	植物観察勉強会	さむかわエコネット	11月7日(水)	目久尻川付近	秋山幸也
29	麻溝マスター養成講座『麻溝地区の歴史と民俗』	麻溝観光協会	11月13日(火)	麻溝公民館	加藤隆志
30	地域を知る講座～大沼からさがみはら～ その4	大沼公民館	11月17日(水)	大沼公民館	土井永好
31	石老山の生い立ち	桂北公民館	11月20日(火)	石老山	河尻清和
32	麻溝マスター養成講座『麻溝地区の遺跡』	麻溝観光協会	11月20日(火)	麻溝公民館	正洋樹
33	理科学習「星空観望会」	もえぎ台小学校	11月22日(木)	もえぎ台小学校	有本雅之 渡邊直展
34	「流域シンポジウム」 川の声 を聞こうよ 桂川～相模川	桂川・相模川流域 協議会	11月24日(土)	相模女子大学	秋山幸也
35	「成人学級」	光が丘公民館	11月30日(金)	青根中学校	有本雅之
36	「冬の星空観望会」	東林公民館	12月1日(土)	東林公民館、 東林小学校	杉本芳秋 渡邊直展
37	日食と月食について	星が丘公民館	12月9日(日)	星が丘公民館	有本雅之
38	「おやこ星空観察会」	上鶴間公民館	12月15日(土)	上鶴間公民館	有本雅之
39	相模原市域の大山信仰と大山道	城山地域史研究会	12月16日(日)	城山公民館	加藤隆志
40	「星空観察会」	沢井公民館	12月23日(日)	沢井公民館	有本雅之
41	出前授業「昔の道具」	中野小	11月19日(金)	中野小学校	渡邊直展

42	「しろやま里山探検隊」	城山公民館	1月19日(土)	城山コミュニティー広場	有本雅之
43	地域を知る歴史講座さがみ塾 「相模原の祭礼行事」	大野北公民館	1月24日(木)	大野北公民館	加藤隆志
44	地域を知る歴史講座さがみ塾 「相模原の年中行事」	大野北公民館	1月31日(木)	大野北公民館	加藤隆志
45	相模原市自然環境観察員制度活動報告会	環境情報センター	2月2日(土)	環境学習センター	木村知之
46	「親子で見る冬の星空観望会」	星が丘公民館	2月3日(日)	星が丘公民館、星が丘小学校	有本雅之
47	出前授業「昔の道具」	中央小	2月7日(木)	夢の丘小学校	渡邊直展
48	野鳥観察会	寒川町	2月11日(月)	目久尻川付近	秋山幸也
49	旧石器ハテナ館連続講座「石に関する講座 その1」	文化財保護課	2月16日(土)	旧石器ハテナ館	河尻清和
50	地域を知る講座 私たちの住んでいる相模原大地の生い立ちと横山について	横山公民館	2月28日(木)	横山公民館	加藤隆志
51	旧石器ハテナ館連続講座「石に関する講座 その2」	文化財保護課	3月2日(土)	旧石器ハテナ館	河尻清和
52	「冬の星空観察会」	横山公民館	3月9日(土)	横山公民館	有本雅之
53	麻布大学環境ワークショップ 環境カフェあざぶ「環境教育の最前線～動物園・水族館・博物館の舞台裏～」	麻布大学	3月11日(月)	麻布大学	秋山幸也
54	第1回環境学習セミナー	環境情報センター	3月16日(土)	環境情報センター	秋山幸也
55	カララノギクの生態及び保全活動の意義	光明学園相模原高校	3月21日(木)	光明学園相模原高校	秋山幸也

1 1 市民との協働

(1) 市民学芸員

ア 内容 学習資料展の企画・準備と関連事業運営、クイズラリー企画・運営、星空観望会補助等を実施した。

イ 登録者 30人

ウ 参加者 延べ 514人(活動回数:63回)

(2) さがみはら水生動物調査会

ア 内容 博物館で収蔵する水生動物の資料整理や講師派遣への協力を行った。

イ 登録者 15人

ウ 参加者 延べ 45人

(3) 相模原植物調査会

ア 内容 市域の植物相調査を行うとともに、標本作製、整理を行った。また、月1回

程度の例会を行い、標本を使った植物分類の勉強会を行った。

- イ 登録者 57人
- ウ 参加者 延べ 280人

(4) 相模原地質研究会

- ア 内容 市内および周辺地域の地質調査や資料整理を行った。地質学講座や子ども鉱物教室など地質分野の教育普及活動を学芸員とともに行った。
- イ 登録者 11人
- ウ 参加者 延べ 84人

(5) 相模原縄文研究会

- ア 内容 市内の縄文時代遺跡の調査と資料整理を行った。また、学びの収穫祭で活動紹介を博物館と協働で行った。
- イ 登録者 13人
- ウ 参加者 延べ 160人

(6) 民俗調査会 A (19年度結成)

- ア 内容 市域のフィールドワークを行いながら、田名地区の「民俗探訪会」を実施した。
- イ 登録者 22人 (平成25年3月末現在)
- ウ 参加者 延べ 223人 (毎月一回実施しているフィールドワーク他の参加人数)
*このほかに、横浜市歴史博物館「民俗に親しむ会」との交流会を、5月27日・田名地区 (相模原側参加者15名・横浜側参加者8名) 及び、10月13日・横浜市鶴見区 (相模原17名・横浜8名) において実施した。

(7) 民俗調査会 B (19年度結成)

- ア 内容 「八王子道から東海道へ」をテーマにフィールドワークを行った。
- イ 登録者 30人 (平成25年3月末現在)
- ウ 参加者 延べ 290人 (毎月一回実施しているフィールドワーク他の参加人数)

(8) 水曜会 (22年度結成)

- ア 内容 津久井郷土資料館 (当時) に保管されていた鈴木重光氏が寄贈された資料のうち、未整理のものについて目録化などの整理を行った。また、収蔵品展「津久井郷土資料室資料紹介～内郷の学校と子どもたち～」を実施した。
- イ 登録者 16名 (平成25年3月末現在)
- ウ 参加者 延べ 311人 (毎月2～3回程度実施している作業に参加した人数)

(9) 相模原市立博物館天文クラブ (23年12月24日発足)

- ア 内容 相模原市立博物館と協働して、身近に起きる天文現象の記録化と資料化を図り、資料の保存事業や展示等の教育普及事業に協力する活動を行う。
- イ 登録者 20人 (平成25年3月末現在)
- ウ 参加者 延べ 117人 (4月～2月:天体写真撮影、作品展示ほか)

(10) 福の会 (24年度結成)

- ア 内容 博物館で収集した民俗資料の整理作業を行うことを目的に結成され、当面は、下溝地区・福田家の蔵に収納されていた資料の整理を行う。
- イ 登録者 14名 (平成25年3月末現在)
- ウ 参加者 延べ 123人 (毎月2回程度実施している作業に参加した人数)

IV 資料管理

1 博物館収蔵資料点数 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

博物館収蔵資料点数リスト

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
考古	考古資料	考古資料収蔵庫等	6,042	箱	6,042
歴史	歴史資料	古文書収蔵庫	5,966	点	43,525
	歴史資料	生活資料収蔵庫	1,304	点	
	歴史資料	特別収蔵庫	11,088	点	
	古文書等市史資料	古文書収蔵庫	3,315	点	
	古文書等市史資料	特別収蔵庫	21,740	点	
	購入資料	特別収蔵庫	112	点	
民俗・地理	民俗・生活資料	生活資料収蔵庫・	21,495	点	28,971
	軍事資料	大型資料収蔵庫	1,565	点	
	地図・写真資料	図面保管庫	5,911	点	
地質	化石資料	地質資料収蔵庫等	189	点	3,646
	岩石・薄片資料	地質資料収蔵庫等	1,205	点	
	テフラ資料	地質資料収蔵庫等	1,369	点	
	ボーリング資料	地質資料収蔵庫	323	点	
	砂礫・泥流堆積物資料等	地質資料収蔵庫等	558	点	
	文献	地質資料収蔵庫等	2	点	
動物	魚類	液浸標本収蔵庫	40	点	38,267
	昆虫類	動植物資料収蔵庫	37,567	点	
	小動物等	液浸標本収蔵庫	594	点	
	鳥類	動植物資料収蔵庫	61	点	
	哺乳類	動植物資料収蔵庫	5	点	
植物	乾燥標本等	動植物資料収蔵庫	46,588	点	46,594
	植物画資料	動植物資料収蔵庫	6	点	
天文	スライド等	フィルム収蔵庫	2,108	点	2,121
	購入資料	天文展示室	13	点	
二次資料	図書	市民研究室等	40,970	点	45,211
	ビデオ・CD-ROM, DVD ソフト	情報サービスコーナー	428	点	
	歴史関係図書類	古文書収蔵庫	3,813	点	
合 計			214,377	点	

館内収蔵美術品資料点数リスト

館内収蔵美術品 (文化振興課扱)

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
美術品	絵画	美術品収蔵庫	394	点	1,755
	書	美術品収蔵庫	55	点	
	彫刻	美術品収蔵庫	2	点	
	写真	フィルム収蔵庫	1,304	点	

館内収蔵市史資料

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
市史資料	行政資料	古文書収蔵庫	600	点	600

博物館関連施設収蔵資料点数リスト

分野	分類	施設名	収蔵点数	単位	分野計
考古	考古資料	相模湖資料収蔵庫	233	箱	1,191
		津久井郷土資料室	354	箱	
		小原本陣・小原の郷	0	箱	
		城山郷土資料保管庫	444	箱	
		吉野宿ふじや	160	箱	
歴史	歴史資料	津久井郷土資料室	688	点	5,522
		尾崎罌堂記念館	3,816	点	
		小原本陣・小原の郷	254	点	
		城山郷土資料保管庫	95	箱	
		吉野宿ふじや	669	点	
民俗・地理	民俗・生活資料	津久井郷土資料室	14,503	点	17,221
		小原本陣・小原の郷	401	点	
		城山郷土資料保管庫	847	点	
		吉野宿ふじや	1,470	点	
動物	昆虫類	吉野宿ふじや	115	点	115
合計			24,049	点	

2 資料・収集整理

分野	内 容
考古	埋蔵文化財再整理（国庫補助事業）
歴史	寄贈歴史資料の分類整理、市域生活資料の収集及び資料カード作成、尾崎行雄(罌堂)関係資料の分類整理
民俗	市域の民俗資料の収集及び収蔵番号の整備などの諸整理
動物	動物資料の収集及び標本の作製・整理、適正な保管を目的とした点検作業
植物	植物資料の収集及び標本の作製・整理、自然観察会の歴史的資料の収集
地質	地質資料の収集及び標本の作製・整理、収蔵資料の整理
天文	天文現象・太陽画像の撮影 インターネットによる公開天文台ネットワーク等からの画像収集
情報	他博物館より送付された刊行物の整理

3 購入資料

区分	内 容
学術専門雑誌	考古学ジャーナル、月刊むし、天文月報等の専門雑誌 15 種 (市民研究室、天文研究室で開架)

4 有害生物管理の実施

(1) 受入れ資料のくん蒸

年 2 回、受入れ資料を対象に洗浄乾燥室においてガス薬剤（エキヒューム）を用いた定期的な被覆くん蒸を実施した。

(2) 有害生物調査

7 月～10 月、収蔵庫および作業室を対象に、各種トラップを用いて有害生物の侵入状況を調査した。

5 資料の特別利用

利用総件数 92 件（平成 24 年度中に利用申請されたもの）

資 料	区 分	利用期間	申 請 者	目 的
博物館外観写真	その他（掲載）	4 月 1 日	個人	刊行物掲載
小山家文書	閲覧・複写	4 月 3 日	個人	調査研究
小山家文書	閲覧・複写	4 月 4 日	個人	調査研究
小山家文書	閲覧・複写	4 月 7 日	個人	調査研究
鈴木重光資料	撮影・閲覧	4 月 10 日	八王子郷土資料館	調査研究
神奈川県撮影航空写真 昭和 29～48	閲覧・複写	4 月 19 日	市公園課	行政事務
常設展示写真	その他（掲載）	4 月 19 日	(株)早稲田総研インターナショナル	教材作成
民俗資料（井戸網・銚子等）	撮影	4 月 26 日	小山地区資料編さん委員会	調査研究
鈴木重光資料	館外貸し出し	6 月 1 日～10 月 10 日	八王子郷土資料館	資料展示
旗本岡野氏関連資料	閲覧・複写	5 月 10 日	墨田区生涯学習課	調査研究
小山家文書	閲覧・複写	5 月 19 日	個人	調査研究
中和田沿革略史	閲覧・複写	5 月 30 日	個人	調査研究
迅速測図（下鶴間村他）	閲覧・複写	6 月 14 日	個人	調査研究
鈴木重光資料	撮影	6 月 21 日	個人	調査研究
鈴木重光資料	撮影	6 月 22 日	個人	調査研究
田名向原遺跡出土石器	閲覧	6 月 23 日	個人	調査研究

平成 24 年度相模原市立博物館年報

田名向原遺跡住居状遺構写真	館外貸し出し（電子データのみ）	7月1日	群馬県みどり市岩宿博物館	刊行物掲載
上中丸遺跡出土資料	閲覧	6月29日	個人	調査研究
上中丸遺跡出土資料	閲覧	7月5日	個人	調査研究
航空写真	閲覧・複写	7月10日	市文化財保護課	行政事務
25000分の1地形図（大正10年測量・八王子）	閲覧	7月12日	㈱山久建設不動産	土地調査
縄文土器・土師器・須恵器	館外貸し出し	7月17日～ 7月28日	県立相模原総合高校	講座教材
福田家文書	閲覧・複写	8月2日～ 8月31日	個人	調査研究
光明寺素絵図（平本家文書）の写真	館外貸し出し（ポジフィルム）	8月9日～ 9月10日	神奈川県立歴史博物館	刊行物掲載
金子家文書	閲覧	8月9日	個人	調査研究
金子家文書 高橋家文書	閲覧	8月10日	個人	調査研究
めんこ・軍人将棋・こま	撮影・閲覧	8月11日	個人	調査研究
高橋家文書	閲覧	8月16日	個人	調査研究
高橋家文書	閲覧	8月17日	個人	調査研究
小山家文書	閲覧	8月17日	個人	調査研究
勝坂遺跡第45次調査出土資料等	館外貸し出し	8月22日～ 12月21日	群馬県みどり市岩宿博物館	資料展示
鈴木重光資料	撮影・館外貸し出し	9月10日～ 12月11日	町田市自由民権資料館	資料展示
尾崎罎堂写真	館外貸し出し	9月1日～ 9月20日	橋本図書館	資料展示
大地開戸遺跡出土勝坂式土器写真	館外貸し出し（電子データのみ）	8月28日～ 9月28日	㈱新泉社	刊行物掲載
上溝村文書	閲覧	8月26日	個人	調査研究
座間家文書	閲覧・複写	8月29日～ 9月29日	個人	調査研究

航空写真（昭和 29 年～昭和 46 年）	閲覧・複写	9 月 11 日	野村不動産(株)	土地調査
唐箕	館外貸し出し	9 月 24 日～ 11 月 30 日	市農政課	講座教材
小山家文書	複写	9 月 13 日～ 9 月 29 日	個人	調査研究
旧大野村役場資料	閲覧	9 月 19 日	個人	調査研究
中村遺跡出土石器	閲覧	9 月 19 日～ 9 月 14 日	個人	調査研究
航空写真（昭和 17 年）	閲覧	9 月 17 日	個人	土地調査
旧大野村役場資料	閲覧	9 月 20 日	個人	調査研究
旧田名村役場資料・旧麻溝村役場資料	撮影・閲覧	9 月 20 日	個人	調査研究
大谷氏寄贈軍事郵便	撮影・閲覧	9 月 20 日	神奈川新聞社	取材
25000 分の 1 地形図（原町田・座間）	閲覧	9 月 23 日	個人	調査研究
新戸村絵図	撮影	9 月 25 日	個人	ウェブ掲載
尾崎罌堂写真パネル・書簡	館外貸し出し	10 月 2 日～ 11 月 2 日	県立城山高校	資料展示
八木家文書	撮影・閲覧	10 月 4 日	筑波大学歴史地理学研究室	調査研究
上中丸遺跡出土資料	閲覧	10 月 3 日	個人	調査研究
『絵図から地形図へ』	閲覧・複写	10 月 6 日	橋本の歴史を知る会	調査研究会
農具一式	撮影	10 月 14 日	個人	講義資料
旧大野村役場資料	撮影・閲覧	10 月 14 日	個人	調査研究
大谷氏寄贈軍事郵便	撮影・閲覧	10 月 16 日	個人	調査研究
航空写真（昭和 17 年）	閲覧・複写	10 月 18 日	市都市整備課	行政事務
旧大野村役場資料	閲覧	10 月 20 日	個人	調査研究
3000 分の 1 地形図（昭和 30 年・38 年、相原）	撮影・閲覧	10 月 20 日	相原の歴史をさぐる会	調査研究

平成 24 年度相模原市立博物館年報

小山家文書・笹野家文書	閲覧	10月28日	個人	調査研究
相模原市構想鳥瞰図写真等	館外貸し出し（電子データのみ）	11月6日～ 11月30日	(株) 柵出版 社	刊行物掲載
橋本遺跡出土土器・当麻遺跡 出土土器	館外貸し出し（電子データのみ）	11月11日	(株)平凡社	刊行物掲載
相模原土地地区画整理地区現形 並予定図	閲覧	11月9日	市都市整 備課	行政事務
下原遺跡出土勝坂式土器	館外貸し出し	11月2日～ 11月3日	市文化財 保護課	資料展示
迅速測図（原町田村他）	閲覧	11月4日	個人	調査研究
田名向原遺跡住居状遺構写真	館外貸し出し（電子データのみ）	11月13日～ 11月30日	（公財） かながわ 考古学財 団	印刷物掲載
旧大野村役場資料	閲覧	11月14日	個人	調査研究
勝坂式土器一式	館外貸し出し	11月10日～ 2月15日	県文化遺 産課	資料展示
白頭山火山灰・木材	撮影	12月7日	韓国放送 公社	番組作成
相模原地形図（下溝）等	閲覧・複写	12月13日	個人	美術作品作 成
地図	閲覧	12月12日	個人	土地調査
星が丘住宅写真	館外貸し出し	12月15日～ 2月28日	関東学院 大学人間 環境学部	刊行物掲載
横浜一般病院絵葉書（鈴木重 光氏コレクション）	館外貸し出し	12月18日～ 12月27日	(株)神奈川 新聞社	刊行物掲載
25000分の1地形図（昭和 32年測量・原町田）	閲覧	1月4日	個人	土地調査
25000分の1地形図（大正 14年測量・原町田）	閲覧・複写	1月13日	個人	土地調査
多摩川砂利事業ニ関スル調査 報告書等（津久井郷土資料 室）	撮影・閲覧	1月13日	個人	調査研究
畑作農具一式	館外貸し出し	1月18日～ 3月21日	国立民族 学博物館	資料展示
相模野周辺36か村入会絵図	館外貸し出し（電子データのみ）	1月18日～ 3月21日	国立民族 学博物館	資料展示

平成 24 年度相模原市立博物館年報

ムササビ剥製	館外貸し出し	1月26日～ 2月4日	県立津久井湖城山公園	資料展示
鈴木家文書	閲覧・複写	1月24日	個人	学習会資料
畑作農具一式	館外貸し出し	1月29日～ 平成28年3月31日	国立民族学博物館	資料展示
当麻亀形遺跡出土石器等	館外貸し出し	2月8日～ 2月11日	市文化財保護課	資料展示
田名塩田遺跡群出土黒曜石原石等	館外貸し出し	2月8日～ 2月11日	(公財) かながわ考古学財団	資料展示
市史民俗編写真等	閲覧・パネル作成	2月8日～ 3月8日	市中央区役所総務課	資料展示
横浜一般病院絵葉書(鈴木重光氏コレクション)	館外貸し出し	3月15日～ 6月14日	横浜市歴史博物館	資料展示
「御届書」(鈴木家寄託文書)	館外貸し出し(電子データのみ)	3月1日～ 3月8日	㈱山川出版社	刊行物掲載
相模原市構想鳥瞰図写真	館外貸し出し(電子データのみ)	3月29日	市中央区役所地域政策課	刊行物掲載
「旅と伝説」第6号(津久井郷土資料室)	撮影	3月9日	個人	調査研究
三太物語(津久井郷土資料室)	撮影	3月10日～ 5月15日	個人	教育
常設展示写真	その他(掲載)	3月12日	㈱早稲田総研インターナショナル	ウェブ掲載
三太物語(津久井郷土資料室)	撮影	3月15日	個人	調査研究
泊日記覚書・秩父巡礼はうし等	閲覧	3月17日	個人	調査研究
陸軍士官学校配置図等	撮影・閲覧・複写	3月19日	在日米陸軍キャンプ座間	土地調査
勝坂有鹿谷祭祀遺跡関係 CD-R,写真	撮影・閲覧	3月30日	個人	調査研究

V 調査研究

分野及び調査者	内容と成果
考古資料の調査 正 洋樹	大日野原遺跡の発掘調査を実施し、(中央大学との共同調査)縄文時代中期の集落跡の一部を検出した。
民俗資料の調査 加藤 隆志	市内の祭礼・行事の調査をして、ホームページ上の「博物館の窓」の「民俗の窓」において随時掲載した。
歴史資料の調査 土井 永好	市域の近世～近現代資料の整理・分類を進めるとともに、長野県軽井沢町に残る尾崎行雄関係未出資料を継続調査し、所蔵者協力のもと一部成果を尾崎号堂記念館企画展に反映した。市民団体と協働して「相模川の小田急砂利軌道運搬」について調査し、その成果を研究報告書に分担執筆した。
植物資料の調査 秋山 幸也	市内の維管束植物などの植物相調査を進め、その中で明らかになった市内に自生する絶滅危惧植物の保全、増殖事業に着手した。
地質資料の調査 河尻 清和	相模原市周辺の南部フォッサマグナ、中津層群、関東ローム層、現河床砂等を調査した。調査結果の一部はホームページの「博物館の窓」、研究報告第 21 集において掲載した。中津層群の砂岩礫について日本地質学会第 119 年学術大会において発表した。
天文資料の調査 杉本 芳秋 有本 雅之	プラネタリウム学習投影教材のデジタル化(プロジェクターの活用)

※検討会委員等の派遣

神奈川県生物多様性保全検討委員会 秋山幸也
 神奈川県水源河川県民調査アドバイザー 秋山幸也
 県立津久井湖城山公園自然に関する連絡会委員 秋山幸也

VI 市史・町史編さん

1 相模原市史

(1) 市史編さん審議会

ア 趣旨 市史編さんに関する重要な事項について、市長の諮問に応じて調査・審議する附属機関、委員 10 人。事務統合のため平成 22 年度から津久井町史についても取り扱うこととした。

イ 委員構成（任期 2 年）

平成 23 年 7 月 31 日～平成 25 年 7 月 30 日（*平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 7 月 30 日）

氏名	備考	選出区分
梅田 和 治	公募委員	公募委員
大塚 喜 一	元津久井町教育委員会教育委員長（*）	学識経験者
篠崎 好 男	公募委員	公募委員
高村 敦 子	元相模原市立中央中学校教諭	学識経験者
中村 洋 子	元大野南公民館長 副会長	学識経験者
長澤 敬 子	元相模原市立くぬぎ台小学校長	学識経験者
奈良 雅 之	元相模湖町立北相中学校長（*）	学識経験者
樋口 雄 一	元神奈川県公文書館郷土資料課長 会長	学識経験者
藤川 まなみ	桜美林大学准教授	学識経験者
矢野 英 明	帝京大学教職大学院客員教授	学識経験者

ウ 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	8月30日（木）	（1）平成 23 年度市史・町史編さん事業の実施状況について、（2）平成 24 年度市史・町史編さん事業について、（3）相模原市史現代テーマ編について、（4）津久井町史自然編について、（5）津久井町史付帯刊行物について
2	3月19日（火）	（1）平成 24 年度市史・町史編さん事業について、（2）津久井町史自然編について、（3）相模原市史現代テーマ編の構成（案）について

(2) 市史編集委員会

ア 趣旨及び委員構成

市史の編集方針及び執筆内容を検討する委員会。任期 2 年、委員 10 人、年 2 回開催

イ 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	8月22日（水）	（1）正・副委員長の選出について（2）平成 23 年度及び平成 24 年度市史編さん事業の実施状況について、（3）相模原市史現代テーマ編について
2	3月16日（土） （報告会として開催）	（1）平成 24 年度市史編さん事業の実施状況について、（2）相模原市史現代テーマ編について

(3) 各専門部会の活動状況

① 近現代部会

ア 部会の開催（現代テーマ編の構成の検討外について）

8日（4月21日、5月19日、6月30日、8月11日、10月6日、11月24日、25年1月19日、3月9日）

イ 聞き取り調査

5日（5月12日、7月12日、7月14日、25年2月16日、2月24日）

② 文化遺産部会

ア 部会の開催（文化遺産編の構成、執筆状況報告外について）

2日（7月19日、9月21日）

イ 社寺調査 13日（4月13日、5月25日、9月10日、9月12日、9月19日、10月17日、10月18日、10月19日、10月23日、10月25日、10月26日、11月29日、1月16日）

ウ 近代建築・土木調査の実施 4日（10月31日、11月14日、25年3月7日、3月22日）

エ 神輿の調査 1日（9月1日）

オ 古民家・長屋門調査 1日（25年3月2日）

カ 金工品調査 1日（25年3月26日）

(4) 普及事業

ア 『相模原市史ノート』第10号の発行 A5判、119ページ、700部

イ 市史講演会の開催

① 演題 「相模原市の縄文遺跡」

実施日 平成24年9月23日（日）

講師 山本暉久さん（昭和女子大学教授）

参加者 100人

② 演題 「相模原市の商業政策をめぐる現代史～大型店の「出店調整」はどう行なわれたか？」

実施日 平成25年3月24日（日）

講師 箸本健二さん（早稲田大学教授）

参加者 52人

ウ 市史刊行物の販売

各行政資料コーナー、博物館で販売

相模原市書店協同組合加盟店での販売を実施（平成20年4月～）

2 津久井町史

(1) 町史編集委員会

町史編さんに必要な資料調査・収集を行うとともに、刊行物の企画及び構成の検討・編集等を行う委員会。任期2年、委員15人。なお、委員会は、平成20年8月の要綱改正により、必要に応じて編集委員長が招集し、部会及び特別部会ごとに開催する。平成24年度は、町史自然編の刊行に伴い、自然部会において開催。

(2) 各専門部会の活動状況

町史編集委員会に設置された原始・古代、中世、近世、近代・現代、自然の各部会及び合同部会長会議を開催し、刊行物の構成の検討や刊行に向けた調査・執筆、編集作業を行った。

① 原始・古代部会

ア 部会の開催（通史編1の執筆内容、目安とするページ数の検討など）
2日（10月20日、25年2月24日）

イ 調査の実施
・考古資料調査 遺物確認や現地踏査等の調査を随時実施

② 中世部会

ア 調査の実施
・中世資料調査 後北条氏文書等中世文書や関連文献等の調査を随時実施

③ 近世部会

ア 部会の開催（通史編2の執筆内容、執筆要領案、目安とするページ数の検討など）
4日（5月16日、8月8日、10月10日、12月5日）

イ 調査の実施
・近世資料調査 御用留等古文書資料や関連文献等の調査を随時実施

④ 近代・現代部会

ア 部会の開催（通史編2の構成案、執筆要領案、目安とするページ数の検討など）
1日（9月12日）

イ 分科会の開催（通史編2の執筆内容や進行状況等について時代別に確認・検討）
・近代分科会 4日（4月11日、8月14日、12月14日、25年3月1日）

ウ 調査の実施
・近代資料調査 個人及び機関所蔵資料や関連文献等の調査を随時実施
・現代資料調査 旧支所文書や個人・機関所蔵資料、関連文献等の調査を随時実施

⑤ 自然部会

ア 部会の開催（自然編執筆状況や内容、スケジュールの確認など）
3日（7月10日、11月13日※、25年2月27日）
※印は編集委員会を兼ねて開催

イ 分野別会議の開催（自然編執筆内容を分野別に確認）
・昆虫分野 1日（8月7日）
・地質分野 1日（8月9日）
・動物分野 1日（8月30日）

ウ 調査の実施
・地質分野補足調査 ルートマップや地質図作成に伴い、現地確認など補足調査を旧町内各地において随時実施

エ 自然編の刊行
・『津久井町史 自然編』 A5判、オールカラー、678ページ、1500部

オ 調査報告書の刊行

- ・『津久井町の動物』 A4判、69ページ、500部
- ・『津久井町の気象』 A4判、142ページ、500部、CD付き

⑥ 合同部会長会議

- ア 会議の開催（事業の実施状況や刊行物の報告、今後の予定の確認など）
1日（3月15日）

（3）普及事業

- ア 町史講演会「江戸時代の津久井ー津久井町史資料編近世2を読むー」の開催
- 第1回「ペリー来航・横浜開港と津久井の人びと」（10月13日実施）
 - ・講師 西川武臣さん（横浜開港資料館副館長・町史近世部会部会長）
 - ・参加者 55名
 - 第2回「娯楽と旅ーお伊勢参りの道中日記ー」（11月10日実施）
 - ・講師 原和之さん（町史専門調査員）
 - ・参加者 55名
 - 第3回「津久井の山林ー御林を中心にー」（12月15日実施）
 - ・講師 当館職員
 - ・参加者 54名
- イ 町史刊行物の販売（相模原市及び旧津久井4町の刊行物を含む）
博物館及び各行政資料コーナーで販売
相模原市書店協同組合加盟店での販売を実施（平成20年4月～）」

Ⅶ 博物館関連施設

1 尾崎罌堂記念館（緑区又野）



尾崎罌堂記念館は、「憲政の神」といわれた尾崎行雄（罌堂）を多くの人に知ってもらおうと、生誕地である尾崎家代々の屋敷跡に昭和 32 年 1 月に建設された。

敷地内には、尾崎自身の筆による「善悪乃標準の碑」が建てられており、館内には写真や肖像画、遺品のほかに幅広い活動の足跡を物語る資料が保存、展示されている。

（1）善悪乃標準の碑

敷地内に入って、右手にある秩父産の花崗岩でできた高さ 3 メートル、幅 50 センチメートルの碑面には、「世人乃幸福をまず言行ハみな善事之をへらす言行ハみな悪事」の文が刻まれている。碑は、東京都港区の故上木長氏の所有のものを、罌堂ゆかりの地に保存したいとの希望を受けて、昭和 46 年に現在の場所に建てられた。

（2）罌堂桜

尾崎行雄が東京市長在職中の明治 45 年、米国ワシントンのポトマック公園に 3,000 本の桜の苗木を贈り、「日米友好の証」を築いたことはよく知られている。ワシントンから東京都足立区に里帰りした染井吉野など 4 品種の桜苗木を『罌堂桜』と命名、その内の『普賢象』1 本を記念館の庭に植樹した。

2 津久井郷土資料室（緑区中野）



明治 35 年に第 1 号が発刊されてから昭和にかけての「少年倶楽部」「幼年倶楽部」「少女倶楽部」「婦人倶楽部」「少年世界」「少女世界」「婦人世界」「キング」、明治に発行された講談本・日本のお伽噺・世界お伽噺など貴重な資料を所蔵している。

また、神奈川県下市町村が発行した自治体史の資料も数所蔵している。

(1) 江戸時代の教科書

江戸時代の寺子屋で使っていた和綴じ古文書（女大学、日本地志など）、江戸、明治、大正、昭和（戦前、戦中、戦後）にかけての貴重な教科書が収蔵されています。

(2) むかしの農機具や生活用具

大きな鋸、箱ゼン（食事に使用）、薬箱、薬調合器、織機、消防器具、農機具などを見ることができます。

3 吉野宿ふじや（緑区吉野）



吉野宿は、江戸時代初期に定められた五街道のひとつ、「甲州道中」の 10 番目の宿場で江戸と甲府の中間にあたり、信州諏訪藩、高遠藩、飯田藩、高島藩などの参勤交代の常宿として栄えた。

「ふじや」は、かつて、旅籠「藤屋」として営まれていたが、明治 29 年の大火で焼失し、現在の建物は明治 30 年頃に建てられたものと言われている。

今年度、国道 20 号の拡幅（歩道設置）に伴い、曳家による移設及び改修に着手したことに伴い 11 月から休館しているが、平成 25 年 7 月 2 日にリニューアルオープン予定である。

(1) 施設概要

- ア 延べ床面積 284.56㎡
- イ 建物構造 木造2階建て 切妻造 平入の町屋建築
- ウ 入館料 無料

4 入館者数一覧

(1) 尾崎号堂記念館

	利用人数（人）	開館日数（日）	1日平均（人）
22年度	1,364	295	4.6
23年度	1,674	295	5.6
24年度	1,767	294	6.0
合計	4,805	884	5.4

(2) 津久井郷土資料室

	利用人数(人)	開館日数(日)	1日平均(人)
22年度	748	290	2.6
23年度	562	292	1.9
24年度	513	291	1.7
合 計	1,823	873	2.0

(3) 吉野宿ふじや

	利用人数(人)	開館日数(日)	1日平均(人)
22年度	1,874	304	6.2
23年度	1,847	308	6.0
24年度	*1,094	183	5.9
合 計	4,815	795	6.0

*平成 24 年度は 4 月から 10 月までの人数

平成 24 年度相模原市立博物館 年報	
発行日	平成 25 年 4 月 1 日
	相模原市立博物館
住所	〒252-0221 相模原市中央区高根 3-1-15
TEL	042-750-8030
FAX	042-750-8061
e-mail	hakubutsukan@city.sagamihara.kanagawa.jp
URL	http://www.remus.dti.ne.jp/~sagami/index.htm